

親潮系冷水南下の影響により本県沖全域で「低め」
(平成27年2月の海況と今後の予測)

平成27年2月10日
茨城県水産試験場

1. 本県周辺海域の概況 (図1, 2/9現在)

- ・黒潮の流型はC型で推移しています。黒潮本流は、犬吠埼南東45マイルを東北東に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯39° 00' 東経146° 00' 付近(気仙沼沖)にあります。親潮の面積は平年より大きくなっています。東北海域の海面水温は低めで推移し、かなり低めの海域も一部みられます(気象庁1/30発表)。
- ・会瀬～鹿島沖にかけて親潮系冷水が南下しています。

2. 海洋観測結果 (2/3～4: 調査船「いばらき丸」)

- ・荒天により、各定線とも東経142度までの調査となりました。
- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10～13に、会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差)を図14～15に、鉛直水温図(平年偏差)を図16～17に示しました。
- ・海面水温は、会瀬沖で6.0℃～9.3℃、大洗沖で6.0～11.8℃、鹿島沖で5.9～11.3℃、犬吠埼沖で11.6℃～15.2℃でした(①, 図2)。
- ・前月と比べると、表層～200m深の全層・全域で降温し、特に親潮系冷水南下の影響を顕著に受けた鹿島～犬吠埼の沖合域では、大きく降温しました(②)。
- ・平年と比べると、大洗沿岸域の一部を除き、全域で平年より低い水温が観測されました。特に沖合域では、平年より4度以上低い海域が大部分を占めています(③)。
- ・潮流の特徴として、沿岸域および会瀬～鹿島沖の141° 30' 付近で逆潮が観測されました(0.5～1.2ノット)。犬吠埼定線の沖合では東向き黒潮(1.3～2.0ノット)が観測されました。

3. 今後1か月の見通し

- ・黒潮流型はC型で推移するとみられ、犬吠埼沖を東北東～北東に流去するでしょう。
- ・親潮の面積は平年並みで推移する見通しで、親潮第一分枝の先端は北緯41° 00' 東経143° 30' (青森県沖)に位置するとみられます。引き続き本県沖に親潮系冷水の影響がみられるでしょう。
- ・水温を平年と比べると、冷水南下により茨城県沖全域で「低め」となるでしょう。

